

近藤忍後援会 2022年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



後援会の皆様のご支援を受けて木更津市議会議員を4期16年務めてまいりました近藤忍は4月16日告示の選挙で5回目の立候補をすると決意致しました。前回の選挙からの4年間には台風災害や感染症対策など様々な試練がありましたが、議長としての経験も重ね、議会での発言力も一層増し地域だけでなく木更津市のため邁進しております。本来であれば年始早々に昨年の報告を行うところですが、選挙情報も加えるため今回は発行が遅れましたことをご理解願います。

2023年3月 後援会長 江野澤政広

1. 定例議会における活動報告

昨年中は3回の一般質問を行いましたので概要を報告いたします。3月定例議会では予算審査特別委員長を務めたため一般質問はしておりません。内容の詳細は木更津市と近藤忍のホームページに記載されております。

6月定例議会：「環境行政について」

地球温暖化防止に向けて木更津市は脱炭素の取組を行うと表明しましたがその具体的な方向性について確認し、再生可能エネルギーの積極的利用を進めるよう様々な提案を致しました。昨年12月から供用したかずさ四市（木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市）が利用する新火葬場の運営課題を質問しまた四市に加え鴨川市、南房総市及び鋸南町の6市1町での運営を目指して本年秋から工事が始まる広域ゴミ処理場の設計内容についても確認いたしました。これらの施設は広域化のスケールメリットが期待されます。



新火葬場の焼却炉の視察 [11月16日]

9月定例議会：「市長の政治姿勢・長期の財政計画について（会派代表質問）」

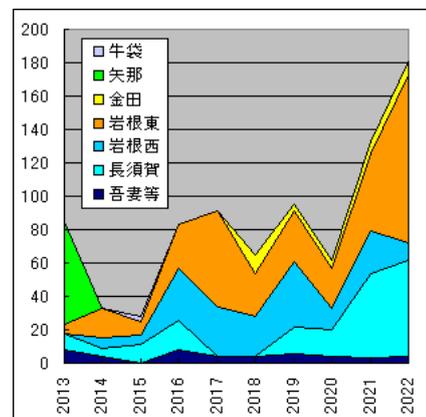
春に無投票で改選を果たした渡辺市長が作成したマニフェストは選挙にならなかったことにより多くの人に届くことがありませんでしたが、今後の市政を考える上で重要であると考え事業化がされていない項目を中心に重要な価値観として何を目標しているか確認したところ、安心感や幸福感があふれ健康で健全かつ美しい暮らしを享受できる「ウェルネス社会」の実現であるという回答がありました。

しかし新火葬場や広域ゴミ処理場の建設に続き、民間ビルを借用した新市庁舎の整備や複合文化施設を吾妻に建設することなど木更津市では長期的に大規模な歳出が見込まれます。現在の一時的な財政状況の改善では安堵しないように長期財政計画も確認しました。明るい話題の時ほど注意を払うことが必要です。

12月定例議会：「小中学校・都市政策について」

小規模特認校制度の課題点や学校設備の更新などを質問し、トイレの洋式化の推進、余裕教室の多い学校の複合利用による行政の合理化などを検討するように提案いたしました。小規模特認校はバス運行により利用者が増えていますが課題は多く、今後も制度の再検討が必要だと考えます。

農業水路は農家人口と農地の減少及び市街化調整区域での住宅開発により都市排水として利用されている状況であり、農業水路の再整備に関して地元の負担の是非を見直すべきだと提案しました。道路整備は用地の取得が難航している現状を改善するため複数の路線で用地取得を進め、購入できた区間から実施することで業務の平準化と促進が図れるのではと質問しました。



市街化調整区域における宅地開発数

※ 議会質問の全文は近藤忍のHP [<http://sinobu.com/situmon/sindex.html>]と木更津市議会のHP [<http://www.city.kisarazu.chiba.dbsr.jp/index.php/>]で読むことができます。またインターネット配信 [<http://www.kisarazu-city.stream.jfit.co.jp/>]では動画を見ることが可能です。

2. 委員会や議会内における活動報告

3月定例会では予算審査特別委員会委員長として3日間の審査を進行するだけでなく資料の提出を要求した質問も行いました。**会派羅針盤**では7月19日から議会改革や地方自治を先進地に学ぶため、彦根市・名張市・伊賀市に行政視察を行い見識を深め、また9月20日に翌年度行政運営に関する要望書を市長に提出しました。

総務常任委員会では飛行場周辺まちづくり構想などを検討するとともに12月13日は消防団との意見交換会を運営しました。

議員全員で構成される**市庁舎整備特別委員会**においては、優先交渉者が決まる中で建設の知識を活用して課題や問題点を指摘しより良い施設の建設が叶うよう議論を進めています。

議会選出の**かずさ水道広域連合企業団議会**では水道料金改定の諸課題に取り組むとともに水道に関する様々な情報開示を進めるよう企業団議会の副議長として要請しています。

都市計画審議会では昨年中に3回の審議会を開催し都市計画に関する諸事案を検討しています。



木更津飛行場周辺まちづくり構想(吾妻地区)のイメージ図

3. 2023年に予定されている主要な変化や課題

1. 木更津市議会選挙

来たる4月16日に告示される選挙では現職議員の引退も数多く予想されます。木更津市長の手腕が引き続き発揮できるよう近藤忍も再選に向けて頑張りますので後援会の皆様のご協力をお願いいたします。

2. 都市の主要な変化

- ・木更津駅西口アーケード撤去に向けた電線の地中化工事が進みます。
- ・金田バスターミナルの近くで㈱新昭和が複合商業施設の建設を開始し、周辺道路の整備も進みます。
- ・巖根駅では跨線橋へのエレベーター設置に続き、東口改札の設置が始まります。
- ・中郷と清川地区の国道409号線沿線に企業進出の計画が示される可能性があります。
- ・市街化調整区域での住宅開発については整備基準の見直しが進められる予定です。

3. 公共施設に関する事案

- ・木更津駅西口立体駐車場は5月8日から封鎖され、新庁舎建設に向けた解体が始まります。
- ・イオンタウン朝日では市役所が入居するビルを駐車場に建設する計画をイオンタウン㈱が進めます。
- ・吾妻公園に市民会館中ホール・中央公民館・図書館を集約した複合施設を配置する設計が行われます。
- ・江川総合運動場では新たな野球場とサッカー場がオープンします。
- ・消防の高柳出張所と清川分署を統合するための新たな消防署を建設する計画も始まります。
- ・公設卸売市場の移転についての議論が始まる予定です。
- ・富津市新富では木更津市を含む6市1町が使用する広域ゴミ処理場の建設工事が始まります。

4. その他の諸課題

感染症と共存する中で地域経済の立て直しが求められ、海溝型大規模地震や大型台風による風水害など自然災害の危機も備えねばなりません。地球温暖化対策や国際化への対応を進めながら高齢者増加という2025問題や老朽化したインフラの更新などにも取り組む必要が高まります。地域自治の強化や行政のデジタル化など変革を求められる諸課題も満載です。市議会議員には多くの知識や広い視野が求められることとなります。

4. 後援会の案内と入会のお誘い

近藤忍の議員活動を励ますため、後援会活動を強化したいと考えております。近隣や知人の方で近藤忍後援会への入会を希望される方は、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。ご連絡は後援会事務所を訪問いただくか、郵送・電話・FAX・メール等にてお願いします。

